

# さんさん、きらきら 第3号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和4年4月22日  
長崎市立南陽小学校  
学校だより  
校長 寺田 成広

## ワンストップあいさつで気持ちよいスタート

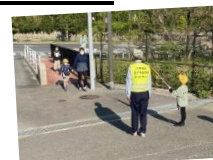
子どもたちと決めたとおり、朝は校門前で登校を待っています。  
私の方に歩いてくる子どもたちの多くは、1mほど前で止まって「おはようございます。」とあいさつをしてくれます。これまでの日々の中で、習慣化されているのでしょう。とてもすてきな行動だと思います。



もう一つすばらしいのが、ボランティアとして校門前であいさつ運動をする子どもたちが毎朝いることです。初めははっきり「クラスごとに『当番』として行うあいさつ運動」と思っていました。話をすると、「今日は時間があるので来ました。」とか、「最近していなかったのが来ました。」等々、自分で「活動する」と決めて、自分のスケジュールをふまえて「する日とする時間」を設定しています。正に、ボランティア(=自発的に社会に役立つことをする)であり、また自己決定、自己調整のよい機会にもなっていると言えます。朝一番から、南陽小の子どもたちは光り、輝いています。

## 学校を支えてくださる多くの方々

今年度も、交通指導員として、柴原さん、高田さん、濱口さん、陣内さんが、朝の登校の見守りをしてくださっています。通学距離が長い、通行量の多い国道を横断する等、保護者の皆さんや私たち教職員の心配事を尽きません。4名の方の存在は、ほんとうに有難く思います。



また、18日月曜日は、南陽 FC 総会と、育友会新旧評議員会。19日火曜日は、南陽ファザーズ総会。20日は土井首地区コミュニティ協議会総会。3日連続で会合に出席させていただきました。



コロナ禍の影響で活動の制限や中止が続いているものの、どの会においても、「子どもたちの健やかな成長のために、自分たちにできることを着実に進めていこう」という会員の方々の思いに触れることができました。そのためには、学校との連携・協力が欠かせないので、積極的に意見交換を図っていくとする姿勢もひしひしと感じました。

また、南陽ファザーズの会の中で、「子どもたちのためだけど、自分たちにとっても楽しい活動をしていきたい。」という声がありました。交通指導員の柴原さんは、「子どもたちの素直さやかわいらしさに元気をもらい、成長を見届けることに喜びを感じています。」とおっしゃっていました。「チーム南陽小」として大人も子どもも光り輝くためには、それぞれが「WIN-WIN」の関係であることが大事だと思います。「チーム南陽小」の今後にとっても期待しています。

なお、南陽ファザーズは、新規メンバーを常時募集しているとのことでした。話を聞いてみたい、メンバーに加わりたい方は、代表の福田さん(6年保護者)か、木下教頭へご一報ください。

## お知らせ

学校ホームページでは、「学校生活」のカテゴリーに3つのコンテンツをアップしています。ぜひ閲覧及びリンクの拡散をお願いします。

○着任式・第1学期始業式:[着任式・第1学期始業式|長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

○1年生 小学校初の給食:[1年生 小学校初の給食|長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

○歓迎集会・歓迎遠足:[歓迎集会・歓迎遠足|長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

